

# 2016年 世界アルツハイマーデー

## 映画鑑賞と講演のつどい

### 第1部 映画 「ゆめのほとり」

—認知症グループホーム福寿荘—

### 第2部 講演 映画製作を振り返って

講師 伊勢 真一 監督

9月25日(日)13:00~15:30

会場：県民共済プラザビル 1F  
みらいホール（桜木町駅前）

第1部 映画鑑賞 13:00~14:40

第2部 講演 14:50~15:30

参加費 600円（チケット購入、または裏面の  
ファックスにてお申し込みください）300名限定



#### 伊勢 真一（いせ しんいち）

ドキュメンタリー映像作家。数多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。「風のかたち」文化庁映画賞・カトリック映画賞受賞、「大丈夫。」キネマ旬報文化映画第1位、「傍（かたわら）」キネマ旬報文化映画第6位。2012年日本映画ペンクラブ功労賞。2013年度シネマ夢倶楽部賞受賞。昨年の世界アルツハイマーデーで上映した「妻の病—レビー小体型認知症—」は非常に好評でした。

みらいホール：桜木町駅前から動く歩道を通り、

1本目の動く歩道を下りて左方向へ

主催：公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部・神奈川県・横浜市

共催：県民共済みらいホール 協賛：(株)エーザイ、ヤンセンファーマ(株) 後援：厚生労働省(予定)

お問い合わせ 認知症の人と家族の会神奈川県支部

〒212-0016 川崎市幸区南幸町1-31 グレース川崎 203 Tel.&Fax 044(522)6801(月・水・金 10:00~16:00)

☆ 9月25日午前11:00から、JR桜木町駅前チラシを配ります。ふるってご参加ください。

# 「ゆめのほとり—認知症グループホーム福寿荘—」

「ゆめのほとり」——なんという幻想的な言葉でしょう。

静謐な湖岸にたたずみながら、炉端のような暖かさを感じる——このようなイメージが湧いてきます。

しかし、夢を追いかける人々や、恋に身を焦がし二人の生活を夢見る若者たちの物語ではありません。北海道にある認知症グループホームを舞台に、一人ひとりの物語をスケッチした穏やかで、静かで、優しいヒューマンドキュメンタリーです。

認知症の人と家族の会が、長い間、社会に訴え続けてきたテーマ「ぼけても、心は生きている」の思いが、初めから終わりまで一貫して流れている映画です。

伊勢真一監督は次のように語っています。

「認知症の専門的なことは、よくわからないけれど、ほんのしばらくお付き合いして言えることは、認知症の人は“何もわからない、できない人”ではなく、“本人なりの思いや願い・できる力を秘めている人”だということ。“喜怒哀楽を共にしている人”だという真実だ。」

認知症グループホームとは、小規模な生活の場(5～9名程度の利用者)で、専門スタッフとともに、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることにより認知症の進行を遅らせ、その人らしい生き方を可能とするケアの形態。「ゆったり、いっしょに、楽しく、ゆたかに」が基本理念です。

グループホーム福寿荘で共に暮らしている 42 名の認知症の人々が織りなすドラマに、あなたも参加しませんか！

(川崎幸クリニック院長・認知症の人と家族の会神奈川県支部代表 杉山 孝博)

**出演** 福寿荘の仲間たち、家族、職員    **監督** 伊勢真一    **企画・製作** いせフィルム



FAX 申込票    Fax   0 4 4 - 5 2 2 - 6 8 0 1    認知症の人と家族の会神奈川県支部   宛

9 月 25 日（日）の「映画鑑賞と講演」のつどいへの参加を申し込みます。

（FAX による申し込みの締め切りは、9 月 20 日とさせていただきます）

2016 年          月          日

氏          名：

人数： \_\_\_\_ 名（1 名 600 円）

連絡先住所：〒

電話：

Fax：

（お申し込みありがとうございました。FAX 申込票の受付後、確認のハガキをお送りします。参加費は当日会場でお支払いください。変更がありましたら、神奈川県支部までご連絡ください）